

モニタリング調査実施状況

1. 捕獲個体の試料分析

捕獲個体から採取した門歯から年齢を、メス生殖器から妊娠状況を把握する（実施中）。また、東大台以外で捕殺した場合は、食性分析を実施する予定。

2. 季節移動状況の把握

(1) 装着予定

- 東大台の個体に 2 機、西大台の個体に 4 機、計 6 機装着する。

表 1 GPS 首輪のデータ取得等スケジュール案

地域	首輪台数	対象個体 年齢、性別	装着期間	データ 取得間隔
東	2	成獣メス	半年 (2007年11月～2008年4月)	2時間おき
西	4	成獣メス	1年半 (2007年11月～2009年4月)	4時間おき

(2) 作業状況

- 8月より西大台での岩塩、ヘイキューブによる誘引作業を実施（図参照）。
- LOTEK 社製 GPS 首輪到着（10月21日）。
11月中に装着作業実施予定。

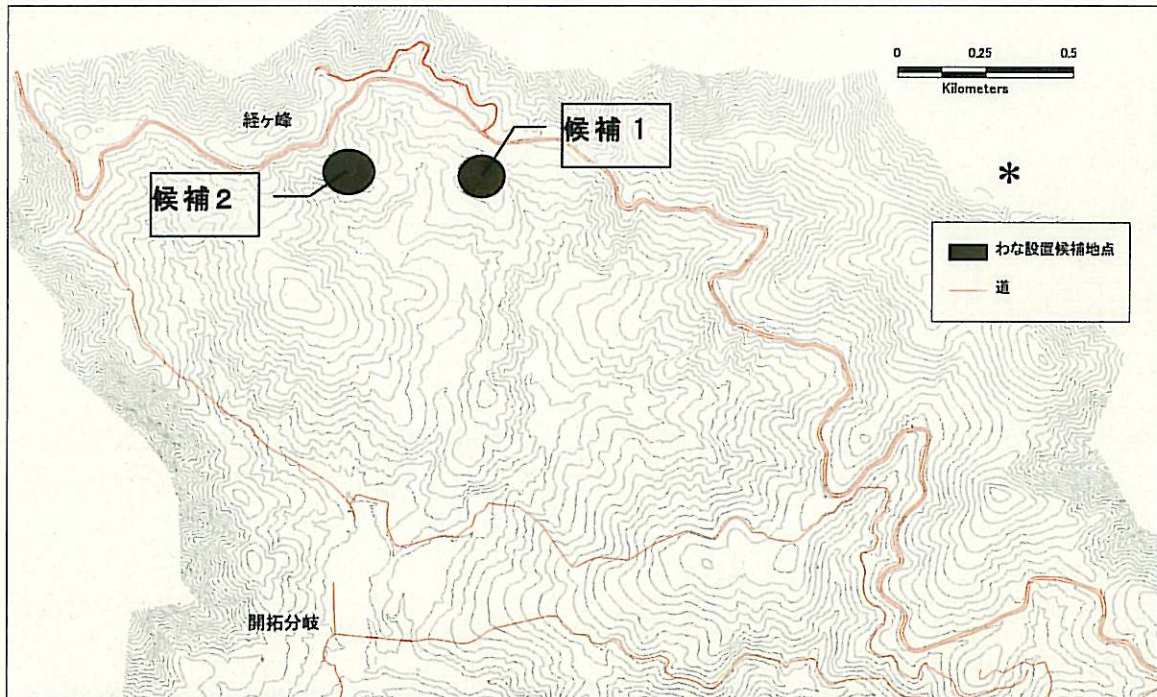


図 1 西大台での GPS 首輪装着個体捕獲用ワナ設置場所候補

3. 生息密度指標

(1) 糞粒法

- 10月～11月初旬に17地点を実施（緊急対策地区14地点、重点監視地区3地点）。1地点あたり、1m×1m枠を110個設置し枠内のシカの糞粒数を計測する。

(2) ルートセンサス

- 固定ルート（東大台2ルート、西大台1ルート）で各2回調査を実施する。
- 旧ドライブウェイ（経ヶ峰～大台ヶ原駐車場）で車を用いたライトセンサスを2回実施する。
- 11月に実施予定

4. ニホンジカによる植生への影響調査

(1) 下層植生調査

- 9月～10月に、緊急対策地区13地点、重点監視地区3地点において、1地点あたり2m×2mの小方形区を5箇所設置し、小方形区内の高さ1.3m未満の林床植物について、種名、高さ（種別最高値）、被度、食痕の有無の調査を実施する。